

## 室内温水プール整備事業の進め方を問う



### 中井 博幸

箕面市監査委員

民生常任委員会  
交通対策特別委員会  
都市計画審議会  
議会改革検討会議  
専門部会

私は、9月議会の一般質問で室内温水プール整備事業の進め方を取り上げました。箕面市は、温水プールの整備に向けスポーツ施設・温水プール整備検討特命チームを立ち上げ、設置場所の選定作業を進めています。私も、温水プールでの運動が子どもの体力向上や、多世代の健康維持、介護予防、リハビリに効果があるので、有ればいいと思います。しかし、室内温水プールを造り、運営するには多額の費用が必要になります。箕面市は北大阪急行線延伸事業や、関連するまちづくりに加え、市立病院の移転建替え、船場地区での小中一貫校の建設、クリーンセンターの大規模改修、消防署の建替えなど多額の資金が必要な事業が目白押しです。



整備することの是非をもっと議論する必要があると思います。温水プールの需要予測や市場調査の実施と資金計画の公表を求めました。市からは、社会的状況や周辺の類似事例調査、ニーズ分析に加え概算事業費の積算、費用対効果の検証、事業手法の検討などを内容とした温水プールの整備の実現可能性調査を専門機関に委託する予定であること、調査分析結果を速やかに議会に提出すること、これらの結果を踏まえ、改めて事業化を進めるのか否かを検討するとの答弁を得ました。私は、将来に大きな禍根を残さないためにも、中長期的な資金計画を立て、無理のない範囲で事業化を検討すべきだと思います。また、箕面市が事業主体になるのではなく、民間業者に経営をしてもらうなど、運営方法も十分検討すべきです。



イメージ図



また、社会保障関係費の伸びも著しく、中でも扶助費は毎年10億円近く増え続け、30年度には128億円に達しました。このような状況下で温水プールを



議場で発言



現地での要望活動



消防大会の応援



市政報告会



稲刈り体験

## 恒常的に不足の文化財行政を回復させよう

H29年度 9月議会  
一般質問よりの抜粋



### 牧野 よしはる

文教常任委員会委員長

彩都・箕面森町地域整備特別委員会・委員  
箕面市社会教育委員

Q 文化財行政には大きく2つに分けて

- ①市民サービスとして文化財保護意識を高める業務
- ②文化財担当業務として文化財保護業務があります。

市の現状はどうかというと担当職員、文化財担当専門職の不足により周辺市に比べサービスが不足している。

具体的には開発事業に伴う埋蔵文化財調査、調査記録による保存発掘調査報告書の作成、史跡文化財の整備保護管理、指定文化財の修理、発掘資料の復元や研究、文化財周知の印刷物の発行、市指定文化財制度を活用した追加継続による地域文化財の保護、文化財案内板や見学コース案内板の設置、学芸員の派遣説明、文化財ニュースの発行、研究誌の編集発行、笹川文庫の閲覧等ができていないのが現状である。市の現状認識について問う。

A 議員ご指摘の人員の増員と資格を持った職員の配置については今後検討してまいります。まずは文化財情報の発信や、資料整理などの文化財に関する業務については、専属の館長と博物館学芸員の資格を持つ企画担当員を中心に再任用職員の活用や文化財愛好会など本市の文化財に精通する市民の協力を得ながら、サービスの向上に努めていく。

Q 子どもたちのアイデンティティを育むため、次代を担う青少年の健全育成のため義務教育現場において郷土史・郷土学習が必要だと考えるが教育委員会の見解を問う。

A 教育委員会としましては、児童生徒が箕面市の様子や歴史、自然、人々の暮らし、観光、まちづくりなどを学び、箕面市の魅力を見つけ、

わたしたちのまち箕面を誇れるような子どもたちを育成していくために、郷土史、郷土学習を引き続き行っていく。

Q 緊急を要する文化財「如意谷銅鐸の保存」「古文書の管理」の対応について見解を問う。

A 議員のご指摘のとおり「如意谷銅鐸」は少々ひび割れやさび等が見受けられるため、今後老朽化の進行具合を観察しながら、その防止策等を国と調整してまいります。次に「古文書の管理」についてですが、市に寄贈された古文書については、市役所第三別館の地下倉庫に保管しており、倉庫の湿気対策として除湿機を設置し、週に3日程度、湿湿度の計測確認を行っています。また、古文書の劣化対策として、受け入れ時の木箱等による保管状況が悪い場合や破損・酸化が危ぶまれる古文書につきましては、中性紙の箱への入替や中性紙の紙で包む等の養生を行うとともに、定期的に防虫剤の入替を行うなど保存管理を徹底し、虫害対策を講じています。

最後に申し上げます。現在の郷土資料館は天井も低く、既定の博物館法にそぐわない。専属の博物館学芸員をおき、博物館法に基づく歴史資料館を設置し、後世に箕面の文化歴史を伝え周知するための施設を望むところである。本市内、古社寺を政教分離に留意して一括して観光ガイドとなる冊子を作成し、本市文化財の豊かさをアピールしてほしい。これは文化財周知義務として努めてほしい。文化財行政で遅れているのは済んだことで致しかたありません。一日も早く造詣の深い有識者がおられるのだから、これらの人々の知恵を借りて少しでも1日でも早く今出来ること、今でしか出来ない事に取り組んでいただきますよう強く提言を申し上げます。

その他、利用者市民のために早期に取り組むべきだ。

- 阪急桜井駅周辺地区再整備、一万人の市民、利用者が切実に望んでいる駅南改札口設置、生活利便性向上 人々の集まる楽しい桜井 旧市街地都市魅力の再生
- 中央学習センター・中央図書館専用駐車場設置 利用しにくい公共施設は税金の無駄遣い

